一般廃棄物の排出及び処理状況等（2021 年度）について

The Knights

環境省は 2021 年度における全国の一般廃棄物（ごみ及びし尿）の排出及び処理状況等の調査結果を取りまとめました。なお、2011 年度から国庫補助による災害廃棄物の処理量、経費等を除いております。主な結果は以下の通りです。

(1)ごみ総排出量は 4,095 万トン（東京ドーム約 110 杯分）、1 人 1 日当たりのごみ排出量は890 グラム
(2)ごみ総排出量、1 人 1 日当たりのごみ排出量ともに減少
(3)最終処分量は前年比 5.9%減少、リサイクル率は横ばい
(4)ごみ焼却施設数は減少（1,056 施設→1,028 施設）
(5)発電設備を有するごみ焼却施設数は全体の 38.5%であり、昨年度の 36.6%から増加
(6)ごみ焼却施設における総発電電力量は増加（10,452GWh、約 250 万世帯分の年間電力使用量に相当）
(7)最終処分場の残余容量と最終処分場の数は概ね減少傾向にあり、最終処分場の確保は引き続き厳しい
(8)ごみ処理事業経費はやや増加

ごみ排出の状況	ごみ総排出量	4,095 万トン（前年度 4,167 万トン）[1.7%減]
	1 人 1 日当たりのごみ排出量	890 グラム（前年度 901 グラム）[1.2 % 減]
ごみ処理の状況	最終処分量	342 万トン（前年度 364 万トン）[5.9%減]
	減量処理率	99.1%（前年度 99.1%）
	直接埋立率	0.9%（前年度 0.9%）
	総資源化量	816 万トン（前年度 833 万トン）[2.0%減]
	リサイクル率	19.9%（前年度 20.0%）
ごみ焼却施設の状況（2021 年度末現在）	施設数	1,028 施設（前年度 1,056 施設）[2.7%減]
	処理能力	175,737 トン/日（前年度 176,202 トン/日）
	1 施設当たりの処理能力	171 トン/日（前年度 167 トン/日）
	余熱利用を行う施設数	729 施設（前年度 738 施設）
	発電設備を有する施設数	396 施設（前年度 387 施設）（全体の 38.5%）
	総発電能力	2,149MW （前年度 2,079MW）[3.3%増]
	総発電電力量 ※1	10,452GWh（前年度 10,153GWh）[3.0%増]
最終処分場の状況（2021 年度末現在）	残余容量	9,845 万m^3（前年度 9,984 万m^3）[1.4%減]
	残余年数	23.5 年（前年度 22.4 年）
廃棄物処理事業経費の状況 ※2	ごみ処理事業経費 21,449 億円（前年度 21,290 億円）	建設改良費 4,314 億円（前年度 4,385 億円）
		処理・維持管理費 15,861 億円（前年度 15,752 億円）

※1 約 250 万世帯分の年間電力使用量に相当
※2 国庫補助金交付要綱の適用を受けた災害廃棄物処理に係る経費を除く

当社では、産業廃棄物の分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料 2023 年 3 月 30 日付 環境省報道発表資料

無機分析箇所 井手口静恵

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590 FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

PFOS、PFOA とは？

有機フッ素化合物で撥水、撥油性があり、難分解性で安定しているため、コーティング剤や界面活性剤などとして様々な製品に使用されてきました。しかし、その安定性から環境中の残留性や生体中の蓄積性が問題視され、国内外で規制の動きがあります。

お問合せはこちら